

深い絶望の中で、
私は聖書のことばに
支えられて、
今日まで
生かされてきた。

48年前、新潟の海から北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの母、早紀江さんは89歳を迎えた今日も神に祈りながら、一刻も早い娘との再会を訴えている。「聖書に出合わなかったら、私はとっくに新潟の海にはまって死んでしまっていた。「恐れるな。…だじろぐな」(イザヤ41・10)と言われる主のことばを信じて、まっすぐに歩んでいきたい」と語る横田早紀江さんと祈りを共にしよう。

第26回

めぐみさん拉致から48年

横田早紀江さんを囲む 拡大祈禱会

■日時

2025年**11月13日**(木) 午後1:30～3:30
(開場午後1:00)

■会場

お茶の水クリスチャン・センター
8F 大チャペル ※定員 300名 (先着順)
入場無料 (自由献金があります)

■プログラム

あかし：横田早紀江

メッセージ：國分広士 (中野島キリスト教会牧師)

特別ゲスト：佐藤佐知典 (元東京都立中学校教師)

*めぐみさんが北朝鮮により拉致されたと判明した年から、勤務校で横田夫妻の講演会、生徒たちと共に街頭署名活動などに取り組んできた。

祈りの時



*会場に駐車場はありません

■ライブ配信はこちら
の2次元コード (QR)
から



写真提供：共同通信社

●主催 横田早紀江さんを囲む祈り会 全国ブルーリボンの祈り会
●協力 CGN 日本、いのちのことば社
○問い合わせ：☎ 03-3413-7861 (斉藤真紀子)、☎ 03-5341-6911 (いのちのことば社)